



ひがしなり
見守り活動
ハンドブック

東成区見守り相談室

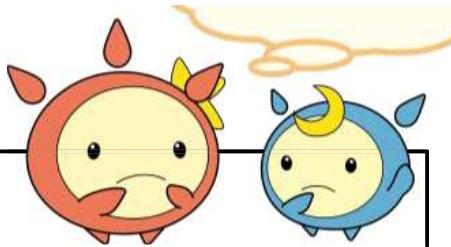
はじめに ~このハンドブックについて~

近年、ご近所同士のつながりが薄くなっている
おり、誰の目にもとまることなく孤立して亡
くなられる方がおられます。

生活のしづらさを抱えた人を含め、だれも
が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮ら
し続けるためには、見守り活動などを通して、
お互いに「気にかけ合い、つながり合い、そ
して支え合う」ことが大切です。

このハンドブックは、日々の見守り活動の
なかでの「気づきのポイント」や相談窓口
(一部)をまとめたものです。日頃から持ち歩
いていただき、ご活用ください。

「もっとこんな情報をのせてほしい」「こんなときどうす
ればよいか教えてほしい」などご意見・ご質問等がありま
したら、気軽に見守り相談室までご連絡ください。
改訂版を作成する際に参考にいたします。



気づきのポイント①こんな様子はありませんか？

自宅の様子

- 新聞や郵便物がたまっている
 - 窓、カーテンが何日も閉まっている
(開けたままになっている)
 - 暗くなつてもあかりがつかない
 - ごみ出しをしなくなった
 - 数日、洗濯物が干しつぱなし
 - 家の中から怒鳴り声が聞こえる
 - 家の中から異臭がする



気づきのポイント②こんな方はいませんか？

本人の様子

- あいさつや会話の様子がいつもと違う
- お金のやりとりに手間取っている
- 同じ道を繰り返し歩いたり、困っている様子がある
- 不自然な傷やあざがある
- 元気がなく、表情や反応がとぼしい
- 同じ服を何日も着ている、不潔な様子
- 最近見かけない
- 家族の介護で疲れているように見える など

気になる方がおられたら、
東成区見守り相談室へお問合せください

道に迷っている方をみかけたら

高齢者等が外出された際に、道迷いから行方不明となり、事故に巻き込まれるような場合があります。

「ずっと同じ場所に座っている高齢者がいる」「様子がおかしい高齢者が歩いている」というような時には、次の7つのポイントを参考に、可能な範囲でお声掛けや関係機関・警察等につなぎましょう。

声をかける際の 7つのポイント

- まずは見守る
- 余裕を持って対応する
- 声をかけるときは一人で
- 背後から声をかけない
- やさしい口調で
- おだやかにはっきりした口調で
- 会話は本人のペースに合わせて



東成区版 認知症ケアパス を知っていますか？

認知症ケアパスは、地域とのつながりによるケアを重視した認知症のガイドブックです。認知症ケアの道しるべとしてご活用ください。

詳しくは東成区ホームページをご覧ください。



相談窓口一覧



【高齢者のくらしや介護の相談窓口】

北部地域包括支援センター 地域：東小橋・中道・北中道・中本・東中本・宝栄	6971-9700 FAX:6971-9701
南部地域包括支援センター 地域：大成・今里・神路・深江・片江	6977-7032 FAX:6977-7070
東陽地域プランチ 地域：東中本・宝栄	6974-7388 FAX:6974-7391
深江南地域プランチ 地域：神路・深江	6977-0011 FAX:6977-0330

【認知症に関する相談窓口】

東成区認知症初期集中支援チーム (東成区オレンジチーム)	6747-9811 FAX:6224-7555
---	-----------------------------------

【障がいのある方のための相談・支援窓口】

東成区障がい者基幹相談支援センター	6981-0770 FAX:6981-0780
東成区役所 精神保健相談員 (こころとからだの健康づくりに関するごとに、 保健師が相談に応じます)	6977-9968 FAX:6972-2781
東成区役所保健福祉課 障がい福祉担当 (障がい福祉サービスなどの手続きに関するごこと)	6977-9857 FAX:6972-2781



ワケわけシート

東成区では、相談者が適切な相談機関につながり、各機関が連携した支援ができるよう「ワケわけシート」を作成しています。
詳しくは東成区ホームページをご覧ください。



緊急時の相談窓口一覧



明らかな異変を感じた場合は、110番や119番に通報しましょう。

緊急事案なら

まずは落ち着いて警察へ！

110番

<主に聞かれること>

- ・何があったか
- ・通報の何分前のことか
- ・場所
(住所、目標になる店舗や建物、階数など)
- ・現在の様子
- ・通報者の名前、連絡先

様子がおかしかったり、けがをしている人を発見したら

救急車を呼びましょう！

119番

<主に聞かれること>

- ・「救急」であること
- ・場所
(住所、目標になる店舗や建物、階数など)
- ・現在の様子(具合が悪い人の症状を具体的に)
- ・通報者の名前、連絡先

※救急車を呼ぶべきか迷ったら、
救急安心センターおおさかで相談できます。
#7119 (06-6582-7119)

ご本人の基本情報や緊急連絡先などが書いてある、「おまもりネットカード」を持っている人もいます。ご確認のうえ、活用してください。



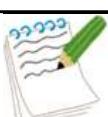
あいさつがはじめの一歩

活動を続けるなかで、不安を感じたり、悩んだりすることもあると思います。一步踏み込んだ活動ができない、気になる方がいても心を開いてくれない、そんな場合には無理せず、まずはあいさつから始めてください。

会うたびにあいさつをする、散歩をしながらなんとなく気にかけることから、ゆるやかに見守り活動を進めることもできます。

このハンドブックが、皆さんの活動を応援するものとなれば幸いです。そして困ったことがあれば抱え込まず、いつでも見守り相談室へご相談ください。

メモ



毛



メモ



メモ





ひがしなり 見守り活動 ハンドブック

-----編集・発行-----

東成区見守り相談室

TEL 06-6977-7035

FAX 06-6977-7038

社会福祉法人大阪市東成区社会福祉協議会

東成区在宅サービスセンター内

〒537-0013 大阪市東成区大今里南3-11-2

発行：令和6年12月 初版